

令和7年11月11日実施

岡谷市下水道事業におけるウォーターPPP導入検討に係る説明会及び個別相談会

質疑及び回答

※この質疑及び回答は説明会及び個別相談会の時点でのものであり、記載内容を今後においても保証するものではないこと、またマーケットサウンディング等によって変更になることがございますので、ご了承下さい。

1	岡谷市として、現時点で「更新支援型」と「更新実施型」どちらを予定していますか。	「更新支援型」を検討中。 ただし、今後のマーケットサウンディングや事業者との話し合いで変わる可能性もあります。
2	「更新支援型」の場合、計画案の策定に関わった事業者は、その後の工事・業務には携われないでしょうか。	コンストラクションマネジメントなどで設計・積算業務に関わった場合、工事を請け負うことはできません。
3	「更新支援型」の場合、コンストラクションマネジメントなどで設計・積算業務に関わった場合、工事に関われないことは理解しましたが、コンストラクションマネジメント方式をしない場合はどうなりますか。	設計・積算を岡谷市で実施し、工事を岡谷市が発注した場合は、計画策定した業者も工事の入札は可能になります。
4	ウォーターPPPの契約期間は10年間と長期の契約になるが、契約期間中、人件費や材料費等が上がる可能性があると考えられるが、岡谷市としてどう考えていますか。	契約時の単価を10年間そのままとは考えていません。 基本協定10年間+年度ごとの実施計画での契約や、スライド条項を盛り込むことが考えられます。
5	説明資料P.33導入検討の対象作業(案)に苦情受付とあるが、これは受託者で第一報を受けるのでしょうか。	第一報は、市で受け、その後、対応は受託者に依頼する形を想定しています。
6	年間の苦情件数は何件でしょうか。 また今後、開示してもらえますか。	苦情の件数は現在取りまとめ中です。 件数や事業内容や事業量については、今後開示していきます。
7	説明の中で「性能発注」を原則とすると書いていましたが、ガイドラインで管路施設については仕様発注から段階的にスタートすることも可能となっていると思うが、どう考えていますか。	現時点では性能発注を検討していますが、今後のマーケットサウンディングや対話によって仕様発注からスタートする可能性はあります。
8	想定している事業規模はどのくらいでしょうか。	おおよそ1.5億円/年を想定しています。

9	もし受託した場合、専任の社員を配置することが難しいと考えていますが、兼任は可能でしょうか。	専任の要否については今後のマーケットサウンディングや対話で検討していきます。
10	今後の検討にあたり、予算規模や業務内容を早めに、詳細に出していただきたいと思っていますが、いかがでしょうか。	業務に関する情報は提供可能になった段階で早めに、詳細に出ていくよう努めます。